

## 令和元年台風 19 号による大規模浸水被害対策分科会

- ・昭和 61 年 8 月洪水を教訓に、(旧) 鹿島台町・大郷町・松島町の被災地域を『**水害に強いまちづくりモデル事業**』のモデル地区に指定 (昭和 63 年)  
⇒国・県・市が分担して、堤防整備などのハード対策と警報や避難などのソフト対策を連携して進める。(構成：国・宮城県・大崎市・大郷町・松島町)
- ・令和元年台風 19 号による洪水被害の発生を受け、「**令和元年台風 19 号による大規模浸水被害対策分科会**」を設置。  
⇒今次出水の検証・課題整理、地域が連携し一体となった減災に向けた提案をとりまとめる。

その内容と結果を



### 【開催状況】

第1回 (令和元年12月10日)

第2回 (令和2年1月14日)

第3回 (令和2年1月21日)

減災対策協議会 (構成：国・県・流域自治体) に報告しフィードバック。

**よりよい減災対策**となるようスパイラルアップを図っていく。

## ・新たな「水害に強いまちづくりプロジェクト」の 6 つの柱

### I. 治水安全度の向上

…再度災害の防止に向け、河川の水位を低減させる対策等 (5 項目 10 メニュー)

### II. 氾濫拡大の防止

…大規模な内水の氾濫を抑制し、被害を最小限にとどめる対策 (2 項目 4 メニュー)

### III. 避難地警報システム

…避難地、避難路の整備及び避難に資する情報・警報システム (8 項目 18 メニュー)

### IV. 氾濫水排除の迅速化

…淡水の長期化を抑制する強制排水機能向上対策等 (2 項目 5 メニュー)

### V. 適正な土地利用の規制誘導

…水害に強い土地利用等再構築 (2 項目 2 メニュー)

### VI. 新たな減災・ソフト対策

…水害に強いまちづくりモデル事業策定以降に、新たに取り組まれてきた減災対策の推進 (8 項目 23 メニュー)

# 令和元年台風第19号による大規模浸水被害対策分科会の設置

## 減災対策協議会

構成：国・県・流域自治体

(H28.3.18設立)

H27.9関東  
東北豪雨

大規模な浸水被害に備え、隣接自治体や県、国等が連携し対策を一体的に推進。

- ハード対策：堤防整備、簡易水位計の設置等
- ソフト対策：ハザードマップ公表、防災訓練

## 「水害に強いまちづくり」

構成：国・県・大崎市・大郷町・松島町

S61.8洪水

水害に強いまちづくり事業

- 昭和61年8月の洪水を教訓に鹿島台町・大郷町・松島町の被災地域を「水害に強いまちづくりモデル事業」のモデル地区に指定(昭和63年)。
- 地域全体を構造的に水害に強い形態へと変えて、地域の壊滅的被害を防止する総合治水の取り組み。
- 国・県・市が分担して、堤防整備などのハード対策と警報や避難などのソフト対策を連携して進める。



よりよい減災対策

R1.10  
台風第19号洪水

「令和元年台風第19号による大規模浸水被害対策分科会」設置

- 今次出水との検証・課題整理
- 地域が連携し、一体となった減災に向けた提案をとりまとめ

減災対策協議会に報告